

「国土の総合的点検」目次構成（案）

はじめに

序章 求められる国土づくりの転換（5 ページ程度）

< 章の目的 >

これまでの国土政策の成果及び依然として残る課題を整理した上で、国土づくりの転換を迫る潮流と新しい課題を列挙し、転換の必要性を国民的視点も踏まえ、提示する。

各小委員会毎の分析（第1章から第3章）へのイントロとする

第1章 二層の広域圏による自立・安定した地域社会の形成（60 ページ程度）

（はじめに）

第1節 現状と課題

- 1．人口分布の現状と展望
- 2．成熟する経済社会のトレンド
- 3．地域産業の動向
- 4．都市を中心に見た地域社会の状況
- 5．「大都市のリノベーション」、「地域連携軸の展開」の推進状況

第2節 今後の政策の基本的方向

- 1．生活圈域レベルの広域的な対応
- 2．地域ブロックの経済的自立と拠点の形成
- 3．「ほどよいまち」をふまえた地域づくり

第2章 世界に開かれた魅力ある国土形成と持続的発展のための国土基盤のあり方（45 ページ程度）

（はじめに）

2 - 1 東アジアの発展の一翼を担う国土形成

- 1．グローバル化とともに活発化する国際交流
- 2．東アジアの一員としての活力ある国土形成
- 3．「広域国際交流圏の形成」の進捗状況
- 4．国際的な競争力・魅力を高めるための基本的方向

2 - 2 自立と連携を支える交流基盤

- 1．健全な地域間競争に資する国内交流基盤
- 2．人口減少下での広域的対応に資する国土基盤
- 3．二層の広域圏形成のための基本的方向

2 - 3 持続的発展のための国土基盤投資

- 1．良好な環境と安全な暮らしを支える国土基盤
- 2．維持更新需要増大下での効率的な国土基盤の整備・管理

3. 国土基盤の質的向上・投資の効率化のための基本的方向

第3章 持続可能な美しい国土の創造（45 ページ程度）

（はじめに）

第1節 現状と課題

1. 国土利用の現状と課題
2. 国土資源管理の現状と課題
3. 循環型・環境共生型国土づくりの現状と課題
4. 自然災害に強い国土づくりの現状と課題
5. 農林水産業の現状と課題
6. 「多自然居住地域の創造」の現状と課題

第2節 今後の政策の基本的方向

1. 「持続可能性」と「美しさ」の追求 基本理念 -
2. 自然災害を柔軟に受けとめる国土づくり
3. 循環型・自然共生型の国土づくり
4. ランドスケープを活かした適切な国土資源管理
5. 都市的土地利用の集約化等による持続可能な美しい国土の形成
6. 今後の重要検討地域
7. 結び

第4章 目指すべき国のかたち（6～7 ページ程度）

1. 目指すべき国のかたち
2. 国土計画の今日的意義

< 章の目的 >

第1章から第3章に示された国土政策の基本的な方向を統合して示す。

第1章から第3章に示されていない主要な論点（東京論、均衡論等）についての見解を示す。

第1章から第3章の分析を踏まえて国土計画の今日的必要性を示す。